

**全国在宅療養支援診療所連絡会 第3回全国大会 プログラム別詳細**

<b>内容</b>	シンポジウム
<b>タイトル</b>	緊急討論！2016診療報酬改訂について議論する
<b>日時</b>	平成28年3月13日 9:00-12:00
<b>会場</b>	第2会場（503）
<b>座長</b>	石垣泰則（コーラルクリニック）
<b>演者</b>	小野宏志（医療法人社団心 / 坂の上ファミリークリニック） 出水 明（出水クリニック） 佐々木 淳（医療法人社団 悠翔会） 泰川 恵吾（予定）（宮古島ドクターゴン診療所） 吉田学（厚生労働省保険局）
<b>企画趣旨・概要</b>	<p>2014年診療報酬改訂は、私たち在宅療養支援診療所にとって激震と言えるものでした。大幅な診療報酬の減収のため、経営に大打撃を受けた医療機関も少なからずあることも耳にしています。一方、2014年診療報酬改訂が適正な在宅医療とは何を議論し、考える契機となったことも確かです。2015年3月この会場で、在宅療養支援診療所のみならず在宅療養支援病院、介護サービス事業者そして厚労省が膝を突き合わせ議論しました。その時の記憶は鮮明で、最初は悲観的意見が多くみられた中、本来のあるべき在宅医療の姿を描き、将来につながる提言がなされたことは大きな収穫だったと思います。あれから一年、在宅医療に取り組む一線の医師たちが何を考え、何を目指しているかを聞く機会を設けました。</p> <p>在宅医療に取り組む医師は、かかりつけ医師、訪問診療専門診療所、有床診療所、在宅療養支援病院等様々な立場で取り組んでいます。地域包括ケアシステムの整備も進みつつあります。当シンポジウムにおきましては、これからクライシスを迎えようとする大都市と今や風前の灯火になりかねない僻地で、在宅医療に取り組む医師の思いと2016年診療報酬改訂への提言していただきます。今や2016年診療報酬改訂の全貌は見えております。この改訂に込められた厚労省の在宅医療の方向性と在宅医への期待も直接聞くことのできる貴重な機会です。この機会が、立場を異にしても在宅医療に取り組むすべての医師達が、国民生活の向上のために、医学的に正当な診療報酬改訂への取り組みを考える機会になることを期待します。</p> <p>皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。</p>

（敬称略）